

われは海の子

作曲 文部省唱歌
作詞 文部省唱歌

われは海の子白浪の
煙たなびくとまやこそ

生れてしおに浴して
千里寄せくる海の気を

高く鼻つくいその香に
なぎさの松に吹く風を

さわぐいそべの松原に
我がなつかしき住家なれ。

浪を子守の歌と聞き、
吸いてわらべとなりけり。

不断の花の香りあり。
いみじき楽と我は聞く。

